

| | | | |
|----|-------------------------|----|--------------|
| 1年 | 生活科「あそびばにでかけよう」 野外活動 | 4年 | 野外活動 |
| 2年 | 野外活動 | 5年 | 自然学校 野外活動 |
| 3年 | 理科「生き物をさがそう」 野外活動 | 6年 | 野外活動 |

身近な生き物の中には、近づいたりふれたりすると危険なものもいます。毒をもって、かまれたり刺されたりすると、場合によっては命にかかわることになります。危険な生き物についての正しい知識を身につけて、危険をさけるように気をつけましょう。被害にあったときは、すぐにおとなに知らせて、病院などでみてもらいましょう。



ヤマカガシ



かまれると危険



かまれると危険

ニホンマムシ 頭は三角形で、体型は太短くすんぐりしています。楕円形のまだら模様が目立ちます。林や草むらの水辺に近い所などで見られます。市内からはほぼ姿を消しましたが、猪名川などで時々見ることがあります。毒性が強く、かまれるととても危険です。

ヤマカガシ 体の色や模様はさまざまで、若い個体は首の周辺が黄色いのが特ちょうです。田んぼや川原などで見られますが、市内からはほぼ姿を消しました。奥歯に強い毒をもっていますが、おとなしいヘビなので、つかまなければかまれることはありません。



刺されると危険



刺されると危険



刺されると危険

オオスズメバチ (巣は地中)

集団でくらすスズメバチの仲間、毒液を出す針で刺されると危険です。特に巣に近づくと「カチカチ」と音を立てていきます。手でふりはらったり、大声を出したりせずに、そっと巣からはなれましょう。

コガタスズメバチ (巣は樹上)

アシナガバチの仲間、生垣や草むら、のき下などに巣を作ります。巣を刺激すると刺すこともありますので、注意しましょう。



刺されると危険



刺されると危険



ふれると危険

チャドクガ 幼虫はツバキやサザンカの葉を食べます。幼虫や成虫の体にある毛にふれると赤くはれて、かゆくなります。毛は空中をまうこともあります。

イラガの仲間 幼虫はサクラやカキノキなどいろいろな木の葉を食べます。幼虫の体にあるとげにふれると激しく痛みます。やがて赤くはれてかゆくなります。

アオバリアガタハネカクシ 畑や川原などの地表でくらします。刺激すると毒のある体液を出し、これにふれると、赤くはれ水ぶくれになります。



かまれると危険



吸われると危険

セアカゴケグモ 外国からやってきた有毒のクモです。かまれると周辺が赤くはれて痛みます。市内でもみぞや地面に近いブロックのすき間などで見つかっています。

マダニの仲間 林や川原などの草むらにひそみ、動物の血を吸ってくります。人間にもくついて血を吸い、病気をうつしたりすることもあるので危険です。



かまれると危険

トビズムカデ 林や草むらなどでくらします。さわったり、つかんだりするとかまれます。激しく痛み、赤くはれます。梅雨の時期には建物内に入ってくることもあります。



かまれると危険

カミツキガメ 北米原産の大型のカメです。ペットとして飼育されていたものが捨てられ野生化しました。市内では猪名川で見つかったことがあります。かむ力が非常に強く、手を出す危険です。



かまれると危険

アライグマ ペットとして飼育されていたものがにげたり捨てられたりして野生化しました。人家に入ってきたり、農作物を食いあらしたりする被害が出ています。気性があらく、近づく危険です。



ふれると危険

ヌルデ ウルシの仲間のもで、空き地や堤防などの明るい林などに生えています。葉や枝にさわったり、植物の汁が肌についたりするとかゆくなり、かぶれることがあり注意が必要です。



食べると危険

キョウチクトウ 大気汚染に強く、道路や工場、公園などに多く植えられています。白やピンク色の花はきれいです。枝や葉など植物全体に毒性があります。公園でよく見かけるアセビも有毒植物です。



食べると危険

キダチチョウセンアサガオ 中南米原産で白や黄色、オレンジ色をしたラッパ型の花をさかせる木です。エンゼルトランペットの名で親しまれ、市内でも植えられているのを見かけますが有毒植物です。



食べると危険

ヒガンバナ 田んぼのあぜや河川の堤防で見られます。秋になると真っ赤な花をさかせる。特に球根(鱗茎)に毒があり食べると危険です。同じヒガンバナ科のスイセンも有毒植物です。